

## 【森林整備課所管事業審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 5
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
  - 公共林道事業（地域自主戦略交付金） . . . p 6
  - 公共林道事業（道整備交付金） . . . p 7
  - ふるさと林道緊急整備事業 . . . p 8
- 平成23年度 再評価実施箇所（附図）
  - 公共林道事業（尾城山線） . . . p 9
  - ふるさと林道緊急整備事業（和良・明宝線） . . . p 10
  - ふるさと林道緊急整備事業（榎谷線） . . . p 11
  - 公共林道事業（干田野・石徹白線） . . . p 12
  - 公共林道事業（池田山平成線） . . . p 13
- パワーポイント
  - 林道事業再評価の概要 . . . p 14～p 16
  - 公共林道事業（尾城山線） . . . p 18～p 24
  - ふるさと林道緊急整備事業（和良・明宝線） . . . p 26～p 29
  - ふるさと林道緊急整備事業（榎谷線） . . . p 30～p 33
  - 公共林道事業（干田野・石徹白線） . . . p 34～p 40
  - 公共林道事業（池田山平成線） . . . p 42～p 47

平成23年度 再評価対象箇所一覧表 8月3日審議箇所

[林政部森林整備課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費		実施済み額		進捗率		経過年数 (H23.3現在)	政策との 位置付け	関連事業の進 捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費削減	費用対効果 分析	対応方針 (案)	特記事項
						全体事業量	事業 実施 率	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	用地補償費	工事費等									
1	公共林道事業(地域自主職階交付金・道整備交付金)	尾城山	白川町 栗白川村 中津川市	H8	H27	33,100	16,733	50.6%	6,992	3,604	51.5%	15	(森林づくり基本計画) 林業及び木材産業の振興	-	特に変化なし 地元は事業継続・早期完成を強く要望	間伐材の活用、再生・リサイクル認定製品の活用など	幅員の員直し、建設副産物の利用など	投資効果 1.38 (1.30)	継続	開設済み 区間は供 用開始		
2	ふるさと林道緊急整備事業	和良・明宝線	郡上市	H8	H24	4,583	4,583	100.0%	11,454	11,003	96.1%	15	(森林づくり基本計画) 林業及び木材産業の振興	接続する県道が整備中である	早期の完成及び供用開始を強く要望	間伐材の活用・リサイクル認定製品の活用など	設計の員直し、建設副産物の利用など	1.28 (1.70)	継続	開設済み 区間は未 供用		
3	ふるさと林道緊急整備事業	榎谷	下呂市	H13	H24	2,293	2,050	89.4%	1,264	993	78.6%	10	岐阜の宝もの認定プロジェクト、下呂市観光計画、南飛騨国際健康保養地構想の支援	御岳パノラマクラウンロードがH19年オープン	岐阜の宝もの認定	生態系、周辺地帯に配慮した林道構造	L型擁壁工、補強土壁工法の採用など	2.07 (2.44)	継続			
4	公共林道事業(道整備交付金)	千田野～石徹白	郡上市	H13	H33	8,060	1,515	18.8%	1,271	259	20.4%	10	(森林づくり基本計画) 林業及び木材産業の振興	-	森林の多様な機能を発揮するための森林整備	間伐材の活用・リサイクル認定製品の活用など	既設作業道を利用した線形	1.45 (1.11)	継続			
5	公共林道事業(地域自主職階交付金)	池田山平成	池田町	H13	H30	4,200	1,391	33.1%	1,200	384	32.0%	10	池田町第五次総合計画	-	事業継続・早期完成を希望	間伐材の活用、リサイクル認定製品の活用	L型擁壁工、補強土壁工法の採用など	1.10 (1.19)	継続			

費用対効果分析:( )は前回再評価時の投資効果率

平成23年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（地域自主戦略交付金）	
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。</li> <li>・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。</li> </ul>	
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>	
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林基幹道開設</li> <li>・森林管理道開設</li> <li>・森林施業道開設</li> </ul>	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養便益</li> <li>・山地保全便益</li> <li>・環境保全便益</li> <li>・木材生産等便益</li> <li>・森林整備経費縮減等便益</li> <li>・一般交通便益</li> <li>・森林の総合利用便益</li> <li>・災害等軽減便益</li> <li>・維持管理費縮減便益</li> <li>・山村環境整備便益</li> <li>・その他の便益</li> </ul>
		その他項目	
*費用便益B/C*	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費</li> <li>・単価の基準：事業開始年度</li> <li>・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通）</li> <li>・評価対象期間は事業完了後40年間</li> </ul>	
	費用便益比の基準	B/C = 1.0以上	

平成23年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（道整備交付金）	
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。</li> <li>・森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。</li> </ul>	
	採択基準	<p>基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p> <p>管理道、施業道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等</p>	
	概要（メニュー）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林基幹道開設</li> <li>・森林管理道開設</li> <li>・森林施業道開設</li> </ul>	
○費用対効果の分析について	効果の項目	うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養便益</li> <li>・山地保全便益</li> <li>・環境保全便益</li> <li>・木材生産等便益</li> <li>・森林整備経費縮減等便益</li> <li>・一般交通便益</li> <li>・森林の総合利用便益</li> <li>・災害等軽減便益</li> <li>・維持管理費縮減便益</li> <li>・山村環境整備便益</li> <li>・その他の便益</li> </ul>
		その他項目	
*費用便益B/C*	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費</li> <li>・単価の基準：事業開始年度</li> <li>・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通）</li> <li>・評価対象期間は事業完了後40年間</li> </ul>	
	費用便益比の基準	B/C = 1.0以上	


平成23年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	ふるさと林道緊急整備事業	
	事業目的	山村地域の振興と定住環境の改善に資するため、地域が緊急に対応しなければならない課題にこたえて早急に行う必要がある林道を整備する。	
	採択基準	地域森林計画に記載された林道。集落間林道、山村地域の定住環境にも大きな役割を果たす林道。地方公共団体が実施・管理することとなっている林道。	
	概要 (メニュー)	・林道の開設	
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C * :	効果の項目	うち 貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養便益</li> <li>・山地保全便益</li> <li>・環境保全便益</li> <li>・木材生産等便益</li> <li>・森林整備経費縮減等便益</li> <li>・一般交通便益</li> <li>・森林の総合利用便益</li> <li>・災害等軽減便益</li> <li>・維持管理費縮減便益</li> <li>・山村環境整備便益</li> <li>・その他の便益</li> </ul>
		その他項目	
	費用 ≧C ≦ の算定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費</li> <li>・単価の基準：事業開始年度</li> <li>・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通）</li> <li>・評価対象期間は事業完了後40年間</li> </ul>	
	費用便益比の基準	B/C = 1.0以上	

# 平成23年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	1	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業（地域自主戦略交付金・道整備交付金） 尾城山線
事業実施箇所	起点：加茂郡白川町下佐見字久室 終点：中津川市加子母小郷西	事業主体	岐阜県
採択年度	平成 8年度	完了予定年度	平成27年度
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	加茂郡白川町と中津川市加子母とを結ぶ 2,800ha の森林内の路網の骨格となる幹線林道を開設することにより、効率的な林業経営や森林の適正な管理に資するとともに、国道 256 号や国道 257 号、県道の災害時の迂回路としての機能を果たす。		
事業概要	幅 員：4.0・5.0m 全体延長：33,100m		
概要図			



## 平成23年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	3	事 業 名 (路線・河川名等)	ふるさと林道緊急整備事業 和良・明宝線		
事業実施箇所	起点：郡上市 和良町 終点：郡上市 明宝 畑佐	鹿倉 畑佐	事業主体	岐阜県	
採択年度	平成 8年度	完了予定年度	平成24年度		
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	郡上市和良町鹿倉から明宝畑佐へ至る幹線道路を緑資源幹線林道・市道とともに形成する林道である。さらに県道のバイパスと一体となって整備をするもので地域の道路ネットワークの一端を担うための林道であり、当地域の振興・定住環境の改善、都市との交流促進に貢献することが期待されている。				
事業概要	幅 員：8.0m 全体延長：4,583m（うちトンネル延長：2,722m、橋梁延長：212m）				
概要図	 <p>The figure is a map of the Rikuzo-Akaho area in Gifu Prefecture. A red line indicates the planned route. The starting point is labeled '起点：郡上市和良町鹿倉' (Starting point: Rikuzo, Rikuzo-cho, Kikura) and the ending point is '終点：郡上市明宝畑佐' (Ending point: Akaho, Akaho-cho, Hattasawa). The map shows the route passing through Rikuzo-cho and Akaho-cho. Two inset photographs are included: one on the right showing a bridge under construction in a valley, labeled '整備状況（橋梁）' (Construction status (bridge)), and one on the bottom left showing a tunnel entrance with a sign, labeled '整備状況（トンネル）' (Construction status (tunnel)). A vertical double-headed arrow labeled '整備区間' (Construction area) spans the distance between the start and end points.</p>				

# 平成23年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課 [森林整備課]

番号	2	事業名 (路線・河川名等)	ふるさと林道緊急整備事業 榎谷線
事業実施箇所	起点：下呂市小坂町落合 終点：下呂市小坂町落合	事業主体	岐阜県
採択年度	平成13年度	完了予定年度	平成24年度
再評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業		

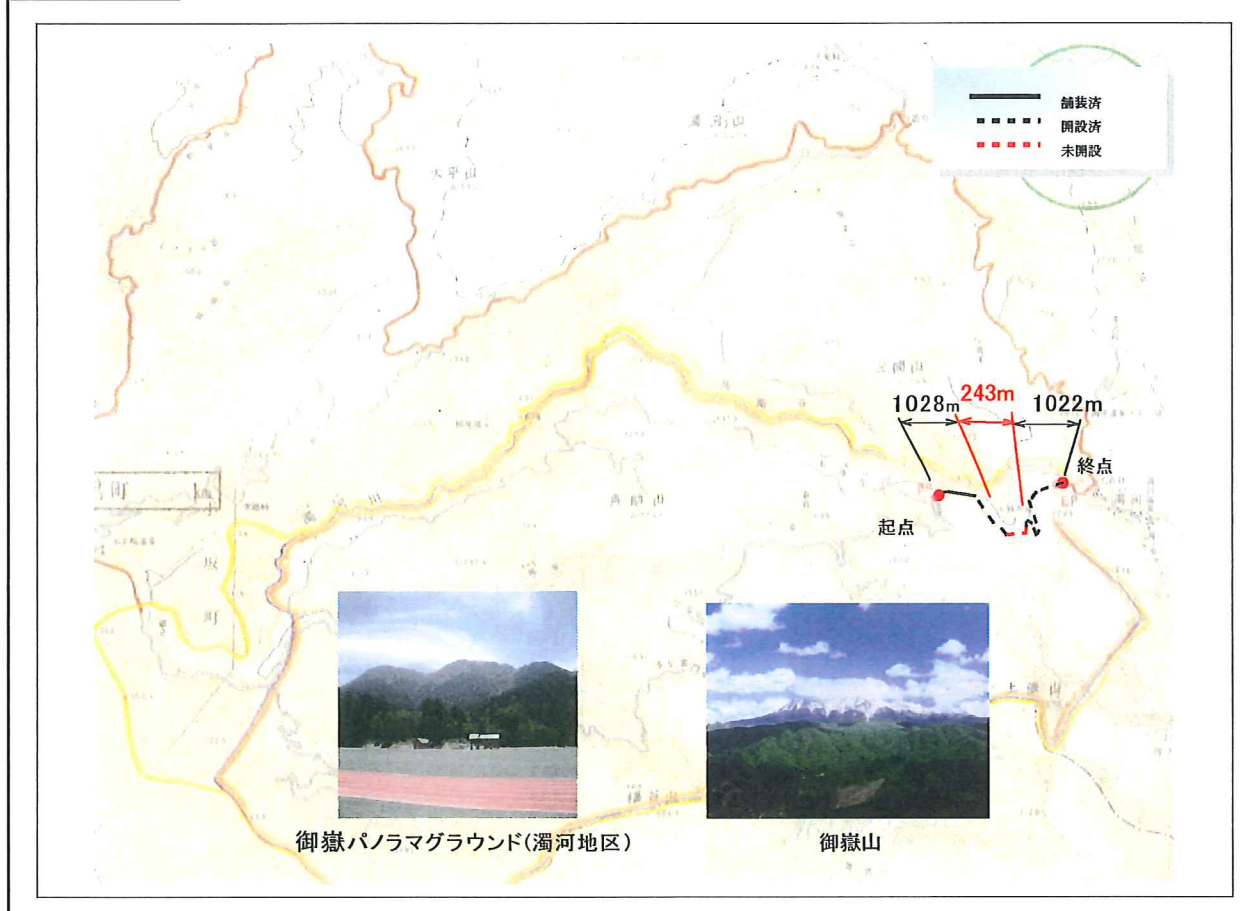
**事業目的**

下呂市小坂町落合地区と同市濁河地区を結ぶ林道を開設することにより、濁河温泉及び飛騨御岳高原高地トレーニングエリアへのアクセス道路として機能し、岐阜の宝もの認定プロジェクトの第1号として認定された「小坂の滝めぐり」や南飛騨国際健康保養地構想を支援するとともに、県道落合飛騨小坂停車場線に比べ、距離、時間の短縮となり安全で快適な通行に資する。

**事業概要**

幅員： 5.0m  
全体延長：2,293m

**概要図**





平成23年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番 号	4	事業名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (道整備交付金) (干田野～石徹白線)	
事業実施箇所	起点 郡上市白鳥町干田野 終点 郡上市白鳥町石徹白	事業主体	郡上市	
採択年度	平成13年度	完了予定年度	平成33年度	
事業評価の実施基準	事業採択後長期間が経過した時点で継続中の事業			
事業目的				

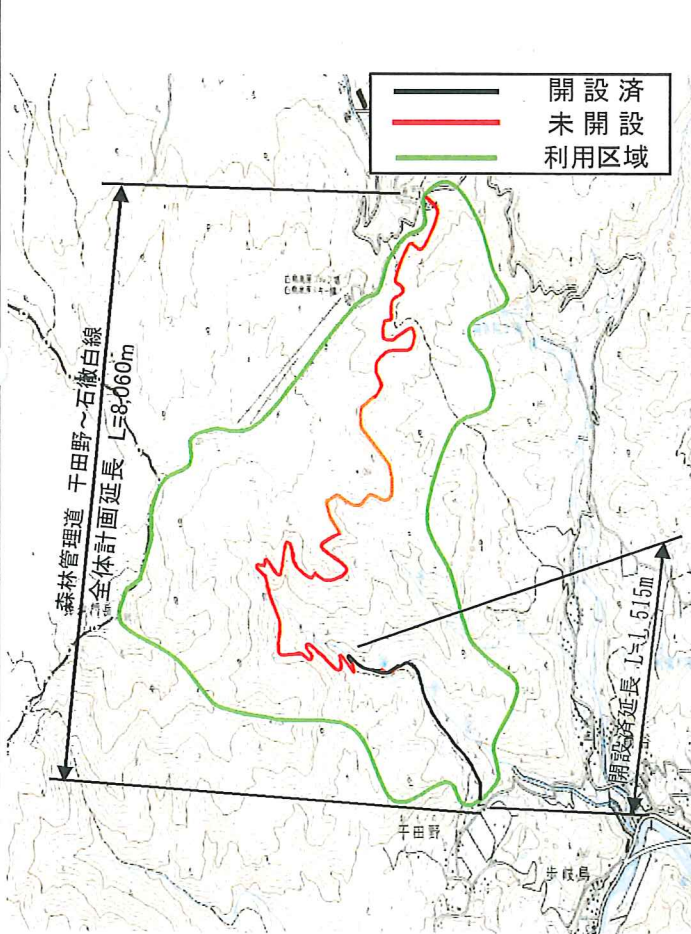
利用区域内森林面積450ha (人工林率50%) の骨格となる幹線林道を開設することにより、効率的な林業経営と適切な森林整備の促進を図る。

事業概要

全延長 8,060 m

幅員 4.0m

概要図



森林資源の現況



整備した林道状況

## 平成23年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番 号		事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (地域自主戦略交付金) 池田山平成線
事業実施箇所	起点：池田町小寺地内 終点：池田町片山地内	事業主体	池 田 町
採択年度	平成13年度	完了予定年度	平成30年度
再評価の実施基準	事業着手年度から10年間が経過し継続中の事業		
事業目的	<p>池田山の東側斜面の山麓一帯には、林道がないため効率的な森林施業や国土保全機能強化のための森林整備が行われていない現状にあり、過密林化が徐々に進行しつつあるため、林道を開設することにより、効率的な林業経営や森林の適正な管理に資する。</p>		
事業概要	<p>全体延長 L=4,200m 幅 員 W=4.0m</p>		
概要図			

## 林道事業再評価の概要

林政部 森林整備課

## 林道事業の目的

- ・適正な森林整備
- ・間伐材等木材の搬出
- ・効率的な林業経営
- ・県内道路ネットワークの形成

# 県の政策との位置付け

## 岐阜県森林づくり基本計画 (平成19年度～平成23年度)

- ・ 効率的・効果的な路網整備の促進
- ・ 県内道路ネットワークの形成に寄与する林道整備の促進

- 健全で豊かな森林づくりの推進
- 林業及び木材産業の振興

### 「森林・林業再生プラン」と林道等の路網整備の役割

(社会情勢の変化)

#### 現状

- 小規模零細な所有形態
- 採算性低下に伴う林業経営意欲の低迷
- 林業担い手の減少
- 林業生産基盤整備の遅れ

#### 路網密度

ドイツ 118m/ha  
岐阜県 20m/ha



放置森林の増加

#### 森林・林業の再生

- 低コスト作業システムを確立する条件整備
  - ・森林施業の集約化を推進
  - ・路網整備(林道・林業専用道・森林作業道)の推進



- ・高性能林業機械との組み合わせによる低コスト作業システムへ
- ・切り捨て間伐から利用間伐へ

- 適切な森林施業が確実に行われる仕組みを整備
- 担い手となる林業事業者や人材の育成
- 国産材の安定供給体制づくりと木材利用拡大

#### 木材自給率の向上

50%以上を達成

- ・地域経済の活性化・新たな雇用の創出
- ・森林の多面的機能の維持・増進

# 林内路網の整備

森林作業道



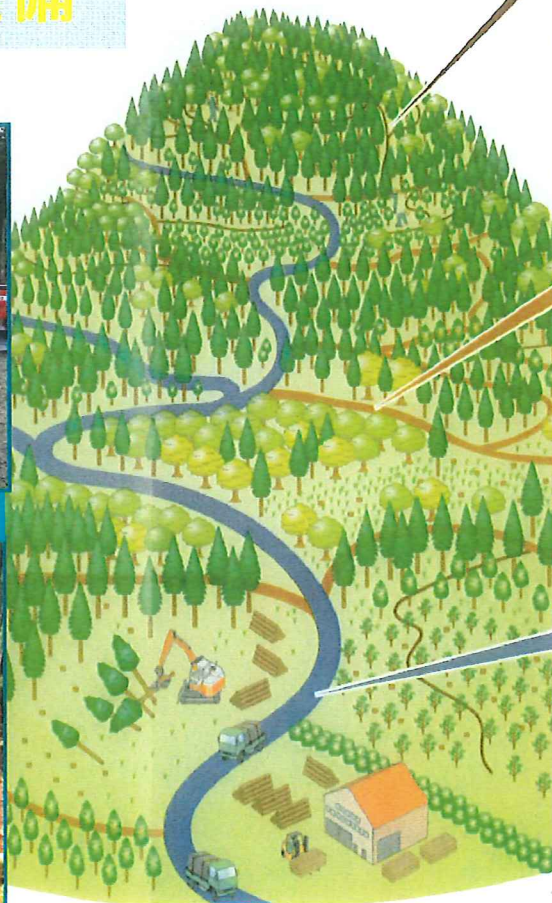
林業専用道



林道



作業道での林業機械による作業状況





公共林道事業(地域自主戦略交付金・道整備交付金)

# 林道 尾城山線の再評価

地域の生活道として利用される尾城山線

## 位置図

- 計画線
- 利用区域

事業期間	平成8年～平成27年
事業費	6,992百万円
事業内容	幅員4.0～5.0m 延長 33,100m
利用区域面積	2,800ha





## 事業の目的

2,800haの森林の骨格となる林道を整備して

- 7割を超える人工林の適正な管理
- 木材生産の活発化
- 災害時の迂回路確保

林道ができるとこんな  
いいことがあります！  
株式会社自受土本

間伐など山中の手入れが容易になります。	伐採木の搬出が容易に出来ます。
間伐など山中の手入れが容易になります。	伐採木の搬出が容易に出来ます。
間伐など山中の手入れが容易になります。	伐採木の搬出が容易に出来ます。



## 木材生産便益



木材搬出に利用される尾城山線



沿線での間伐作業

## 森林整備経費縮減等便益

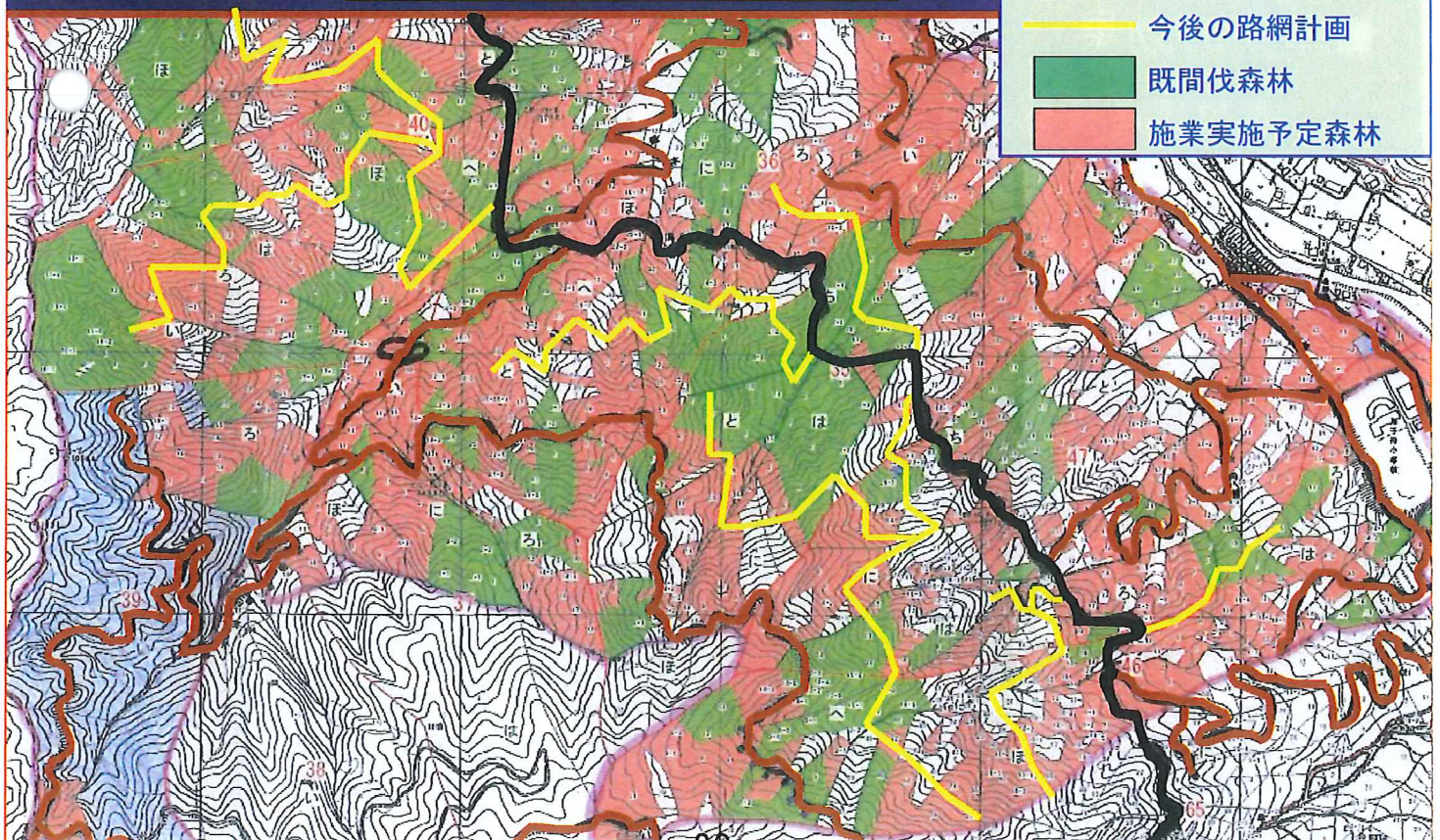


林道沿線における作業道開設工事



開設された作業道

## 森林整備と路網計画



# 災害等軽減便益

—— 現在の経路(国道256号)  
—— 尾城山線を迂回



## 費用対効果分析

### ■事業の効果

木材生産便益	38%
森林整備経費縮減便益	38%
災害等軽減便益	23%
その他の便益	1%

### ■投資的効果率

効果額

————— = 1.38

事業費

前回評価時(H18年)

1.30

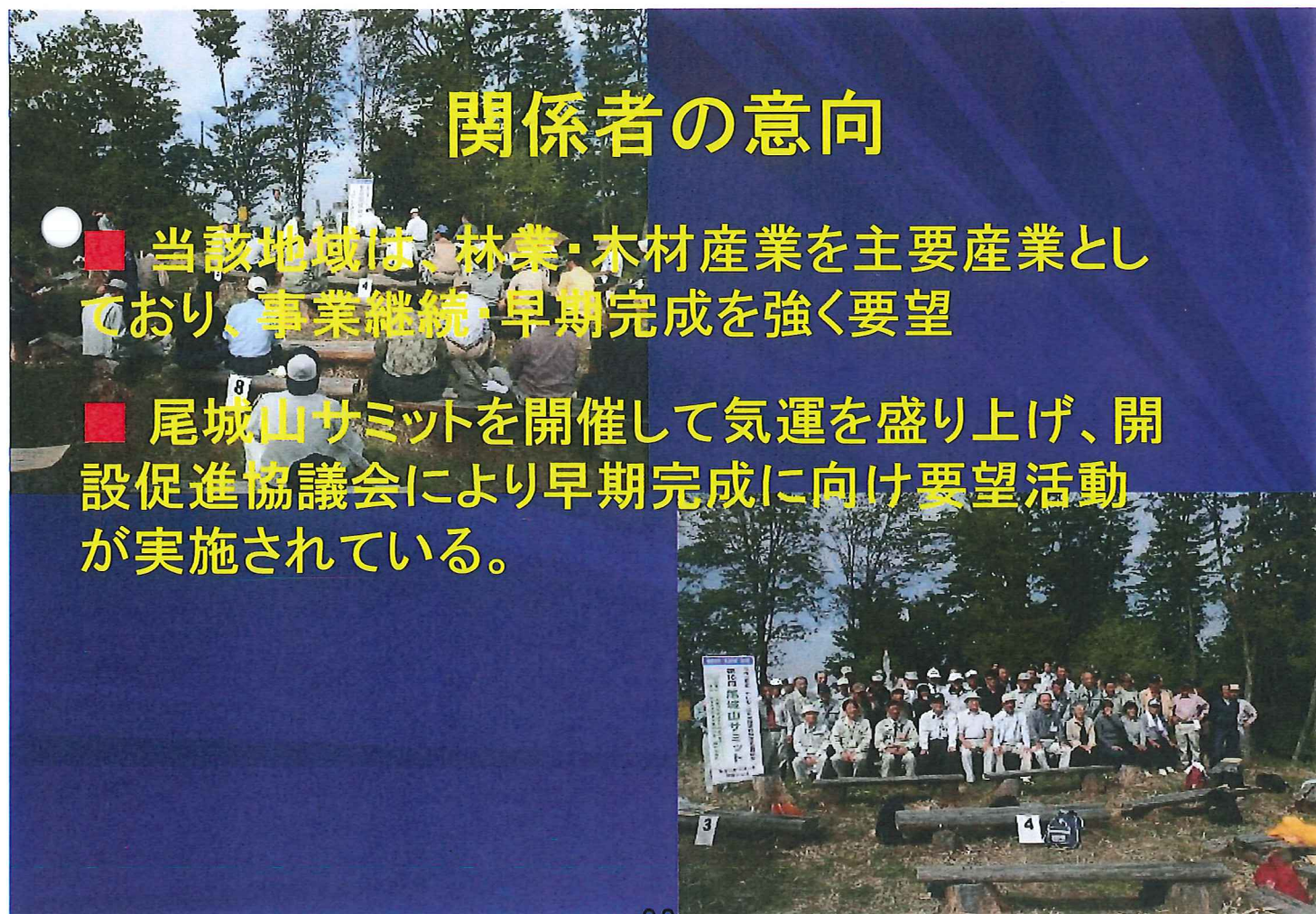
# 社会情勢の変化

- 「森の合板工場」が平成23年4月から本格稼動
- 年間約10万立方メートルの間伐材の需要が創出



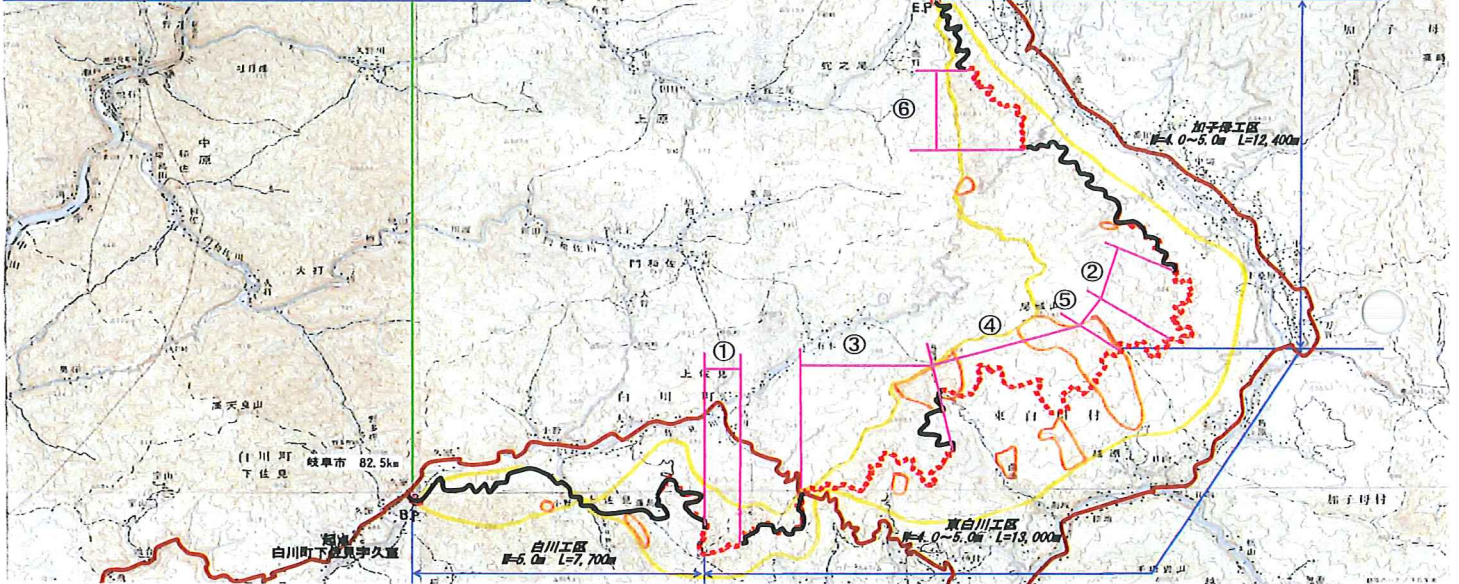
# 関係者の意向

- 当該地域は、林業・木材産業を主要産業としており、事業継続・早期完成を強く要望
- 尾城山サミットを開催して気運を盛り上げ、開設促進協議会により早期完成に向け要望活動が実施されている。



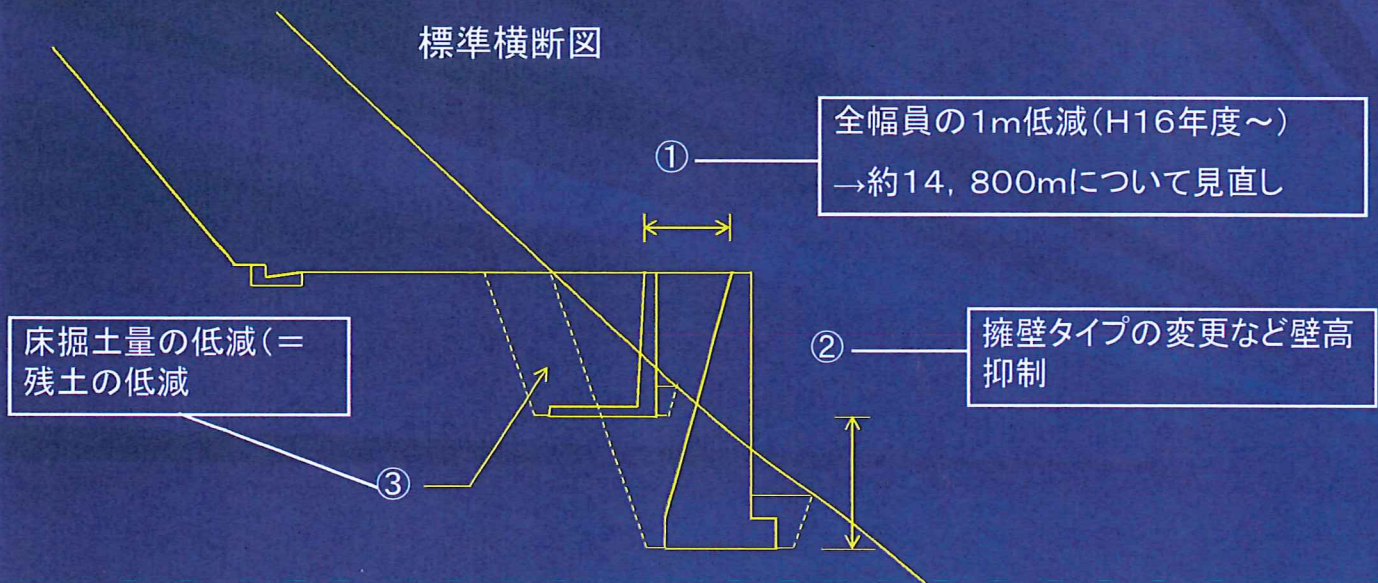
# 事業の進捗状況

全体延長	33,100m
開設済	16,733m
残計画	16,367m
—	国道及び県道
延長 進捗率	50.6%
事業費 進捗率	50.8%



# 事業費縮減への取り組み

標準横断面図



## 木材・リサイクル製品利用への取り組み



上:木伏工

下:盛土小段への木柵工



上:県リサイクル認定製品を使用したL型擁壁

下:現地発生木を利用した法面吹付



## 対応方針(案)

1. 地域の生活道、迂回路としての機能が高い区間、早急に森林整備の必要があり、木材搬出の利用効果の高い区間を優先的に進める。
2. 優先順位が下位の区間については、既設作業道等も利用し、極力コスト縮減を図る。



継続して事業を実施することが妥当



# ふるさと林道緊急整備事業 林道 和良・明宝線の再評価



# 事業の進捗状況



畑佐トンネル(仮称) 明宝側坑口部



起点：郡上市和良町鹿倉

トンネル区間

終点：郡上市明宝畑佐

残計画  
(舗装、防護柵)

計画区間

実施済  
2,722m



2号橋から終点側を望む(明宝側)



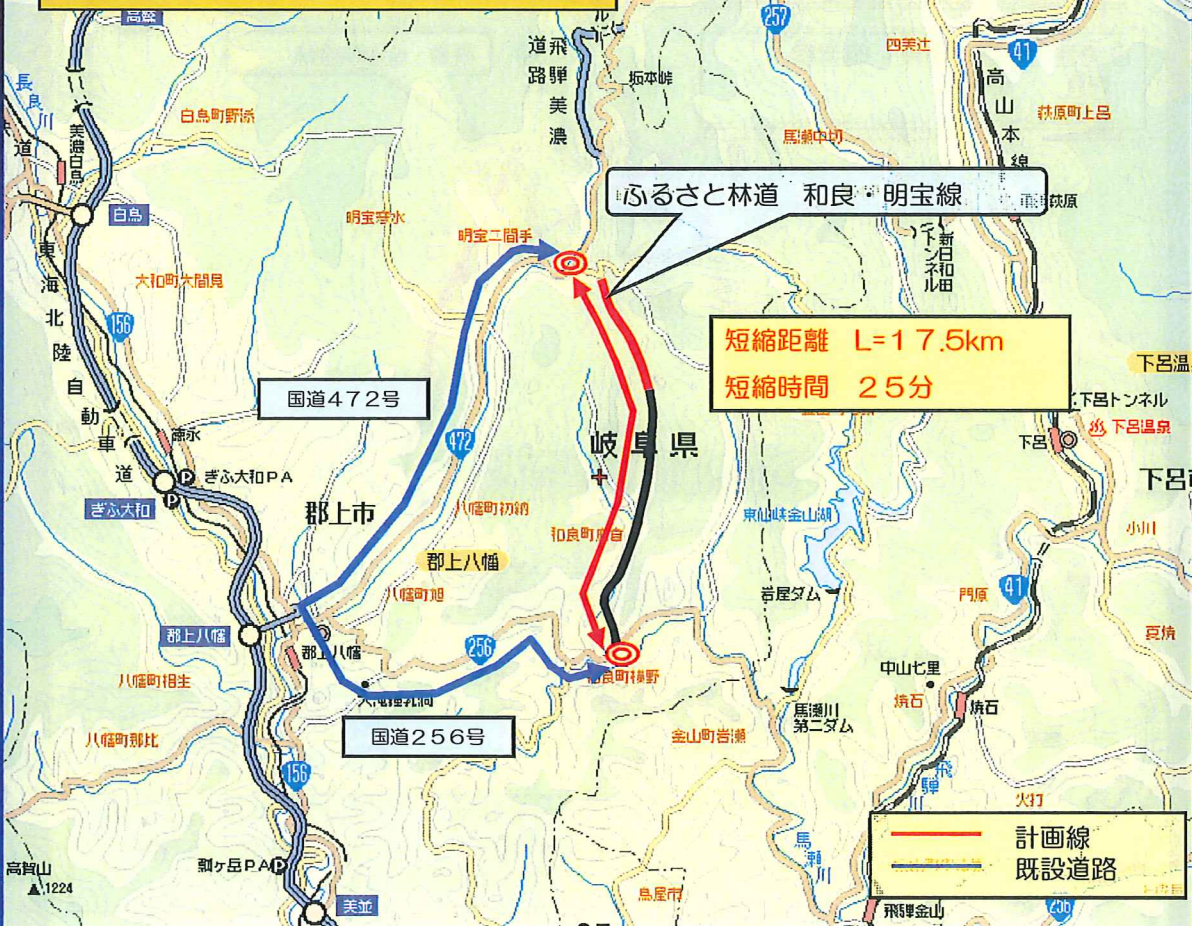
坑口周辺から終点側を望む(明宝側)



畑佐トンネル(仮称) 和良側坑口部

全体延長	4,583m
— 実施済	2,722m
- - - 残計画	1,861m
(舗装・付属施設)	
事業費進捗率	96.6%

## 期待される効果(一般交通便益)



心るさと林道 和良・明宝線

短縮距離 L=17.5km  
短縮時間 25分

— 計画線  
— 既設道路



## 期待される効果（森林整備促進便益）



## 費用対効果分析

### ■事業の効果

- ・ 一般交通便益 効果全体の95%
- ・ 森林整備促進便益ほか 効果全体の5%

### ■投資的效果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.3$$

前回再評価時（H18年）

1.7

## 対応方針（案）

1. 緑資源幹線林道・県道等と一体となって道路整備を行うもので、地域の道路ネットワークの一端を担う林道であり、当地域の振興・定住環境の改善に貢献することが期待されている。
2. 地元住民・森林所有者・郡上市とも早期の完成・供用開始を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当

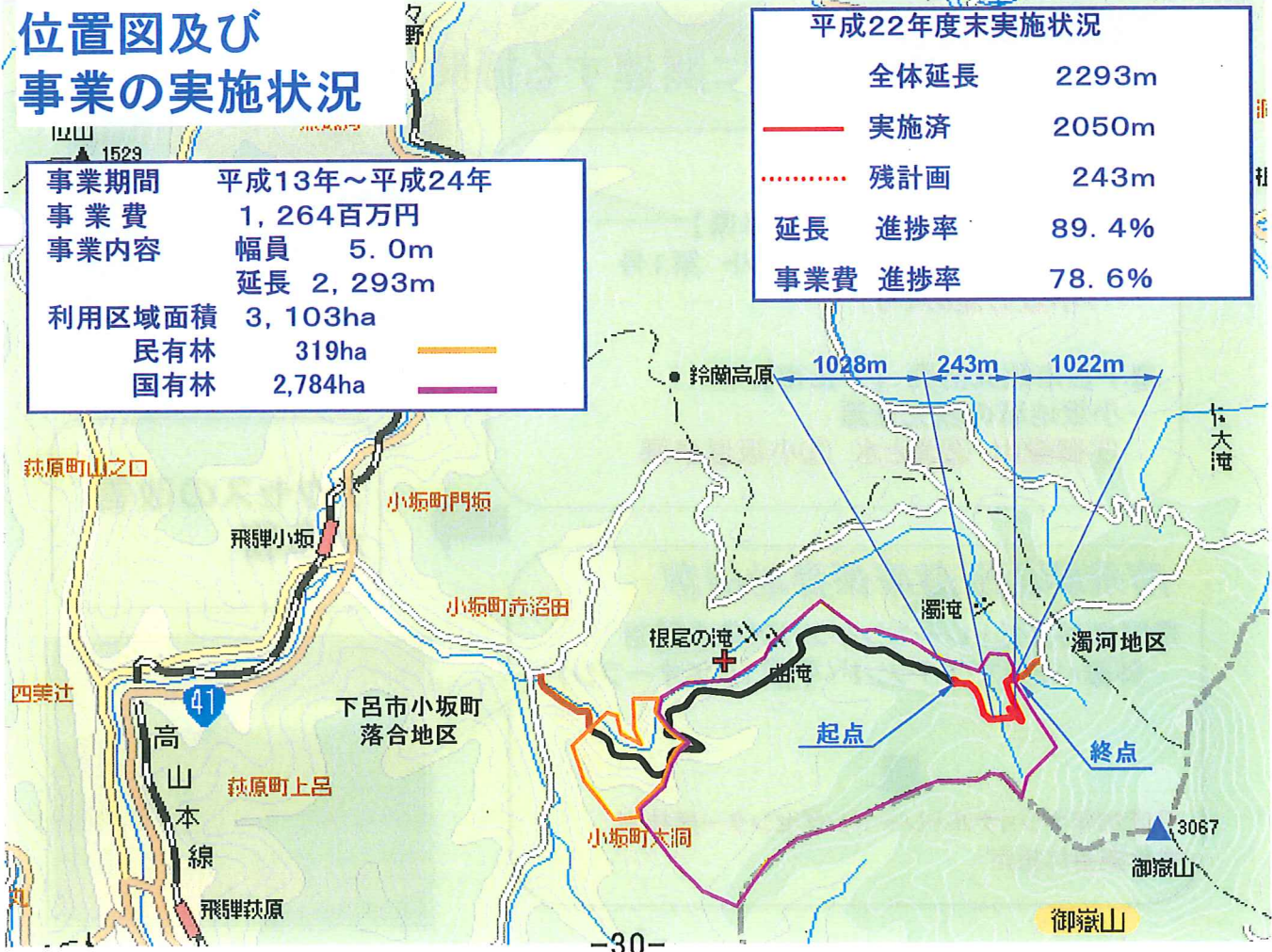
# ふるさと林道緊急整備事業 林道 榎谷線の再評価

林政部 森林整備課

## 位置図及び 事業の実施状況

事業期間	平成13年～平成24年
事業費	1,264百万円
事業内容	幅員 5.0m 延長 2,293m
利用区域面積	3,103ha
民有林	319ha
国有林	2,784ha

平成22年度末実施状況	
全体延長	2293m
— 実施済	2050m
⋯ 残計画	243m
延長 進捗率	89.4%
事業費 進捗率	78.6%



# 事業の目的

- ・既設林道と市道の接続による濁河地区へのアクセスの改善
- ・「岐阜の宝もの」に認定された「小坂の滝めぐり」や南飛驒国際健康保養地を支援し、地域振興を図る

## 現在の整備状況



起点側工区



橋梁工区



終点側工区

## 濁河地区に関連する振興施策

### 観光施策

- 飛驒・美濃じまん運動【岐阜県】
  - ・岐阜の宝もの認定プロジェクト 第1号「小坂の滝めぐり」
- 下呂市観光計画【下呂市】
  - ・小坂地域の観光資源
    - ①御嶽山 ②滝と水 ③小坂温泉郷

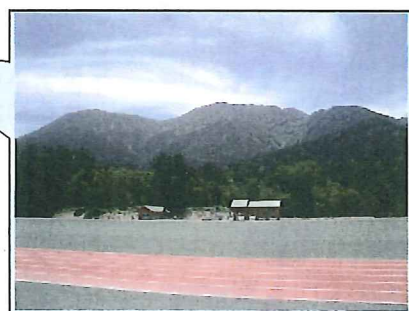


アクセスの改善が急務

### 南飛驒国際健康保養地構想

- 飛驒御岳高地トレーニングエリア基本構想
  - ・御嶽パノラマグラウンド(平成19年オープン)

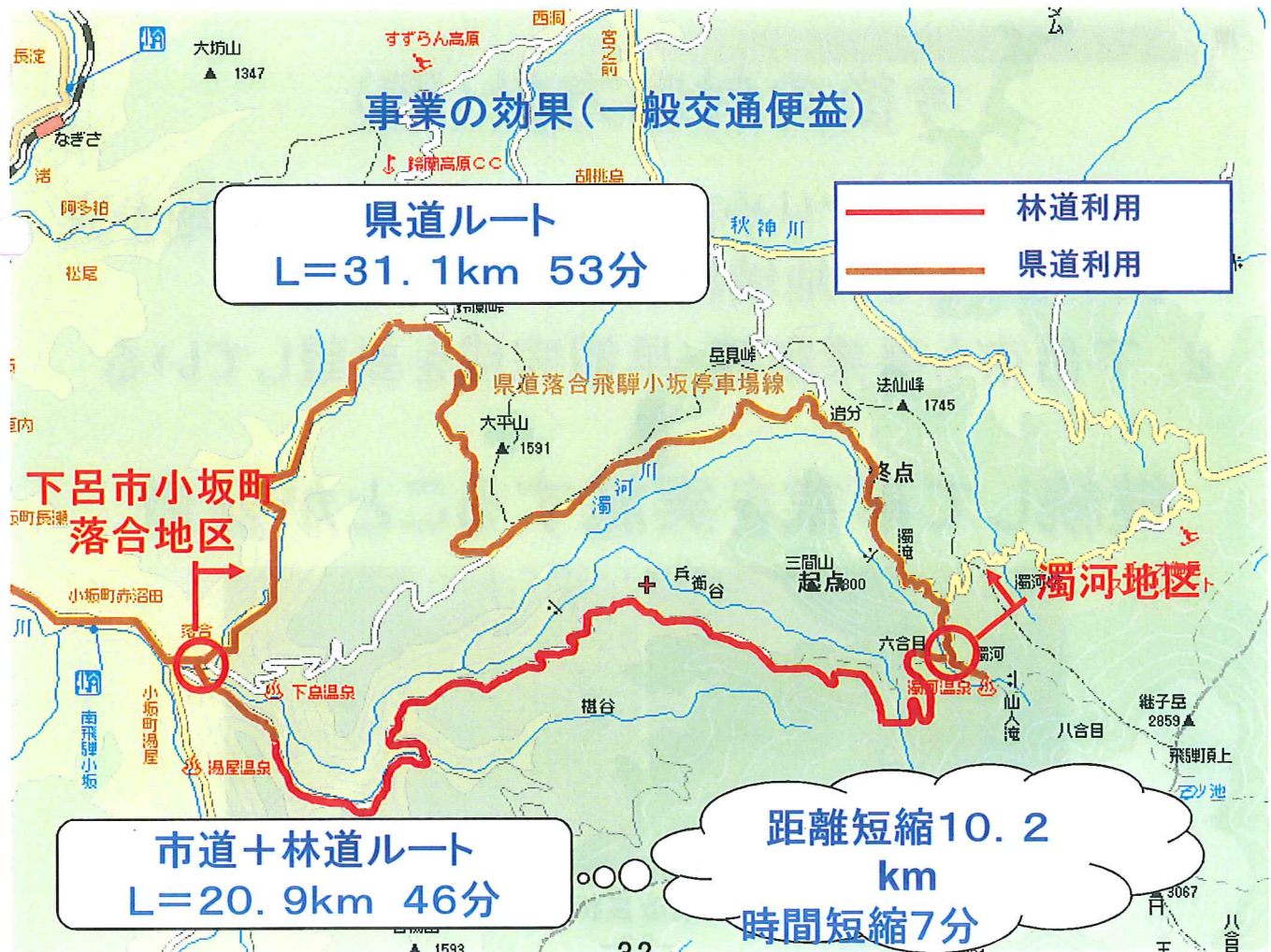
平成20年ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に指定



### 事業の効果(森林の総合利用便益)



### 事業の効果(一般交通便益)



# 費用対効果分析

## ■事業の効果

一般交通便益

効果全体の40.0%

森林の総合利用便益

効果全体の51.0%

その他の便益

効果全体の 9.0%

## ■投資的効果率

効果額

前回評価時(H18年)

2.4

= 2.1

事業費

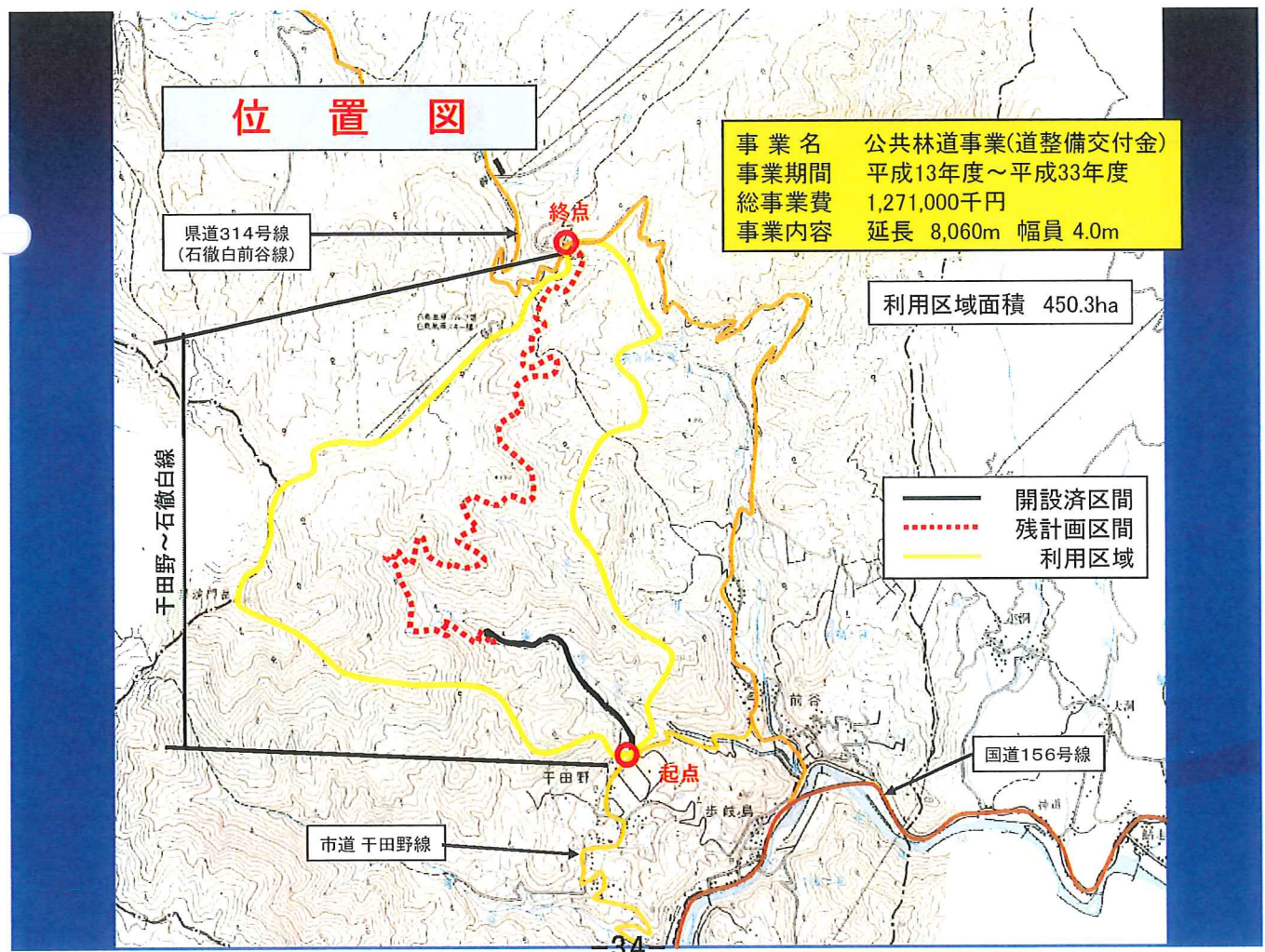
## 今後の対応方針(案)

1. 小坂の滝めぐりや南飛騨国際健康保養地を支援することで、地域経済の活性化を図る
2. 下呂市も事業継続・早期完成を要望している

↓  
継続して事業を実施することが妥当



下方道改良状況



# 事業の目的

- ・効率的な林業経営
- ・適正な森林整備
- ・間伐材等木材の搬出



## 利用区域内の森林状況

人工林 227ha

(内訳)

・主伐及び利用間伐期 144ha(63.4%)

・保育間伐期 83ha(36.6%)

人工林(50.2%)

天然林(49.8%)

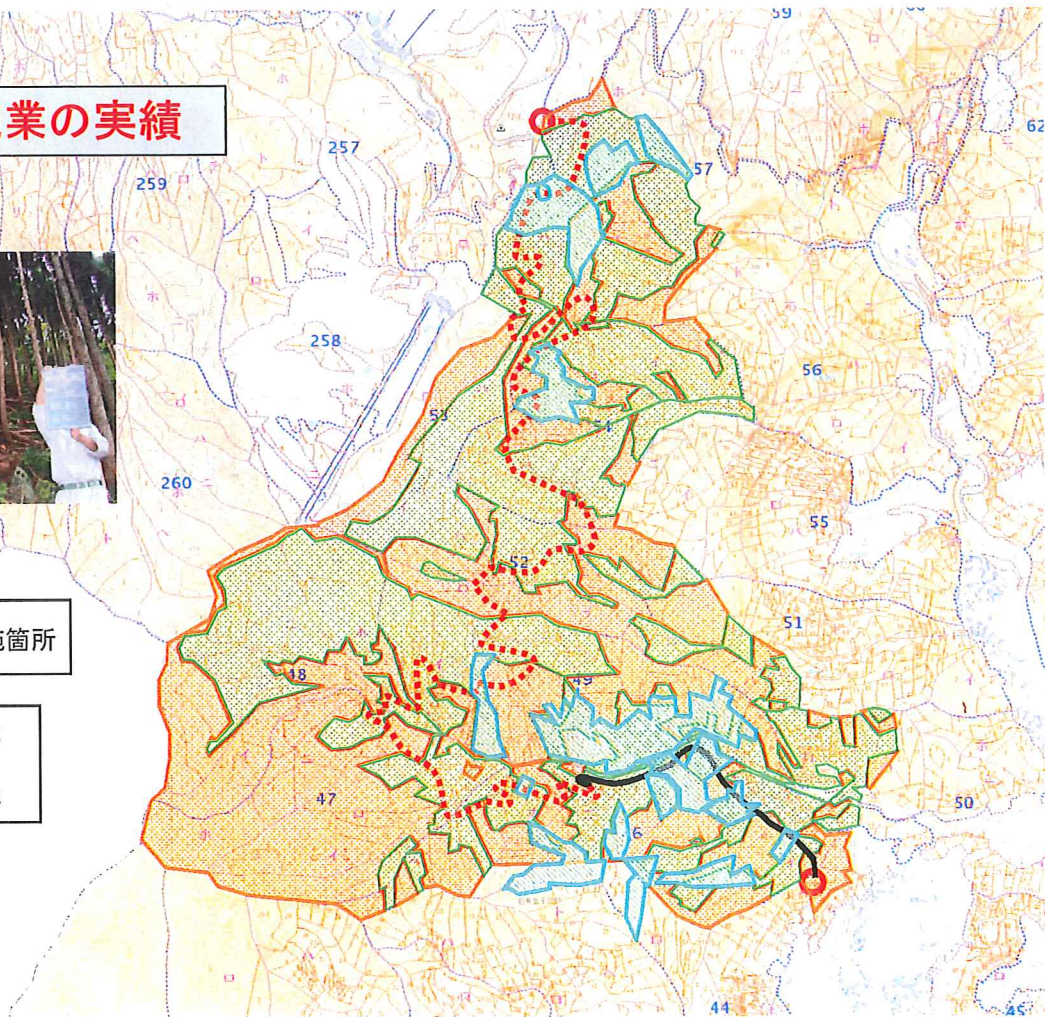


# 森林施業の実績



施業実施箇所

人工林  
天然林



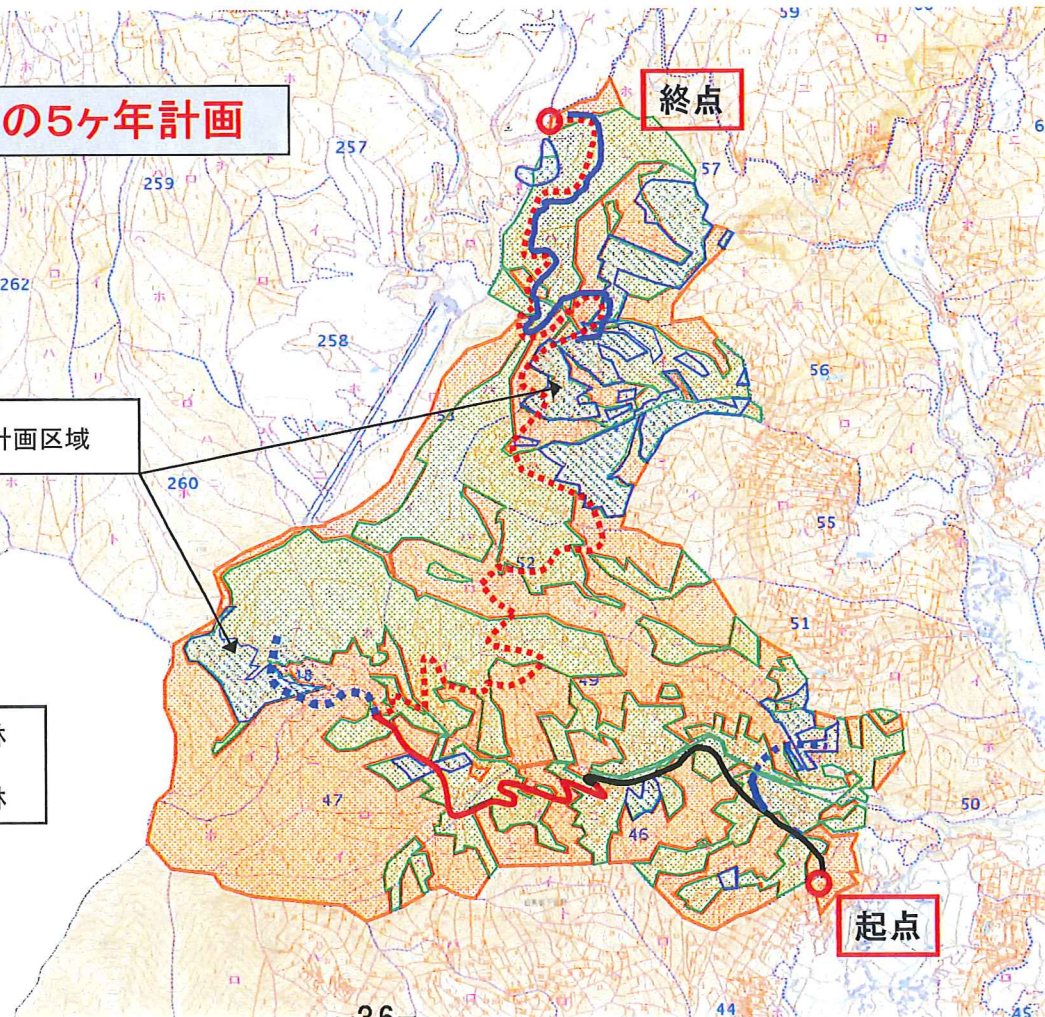
# 森林施業の5ヶ年計画

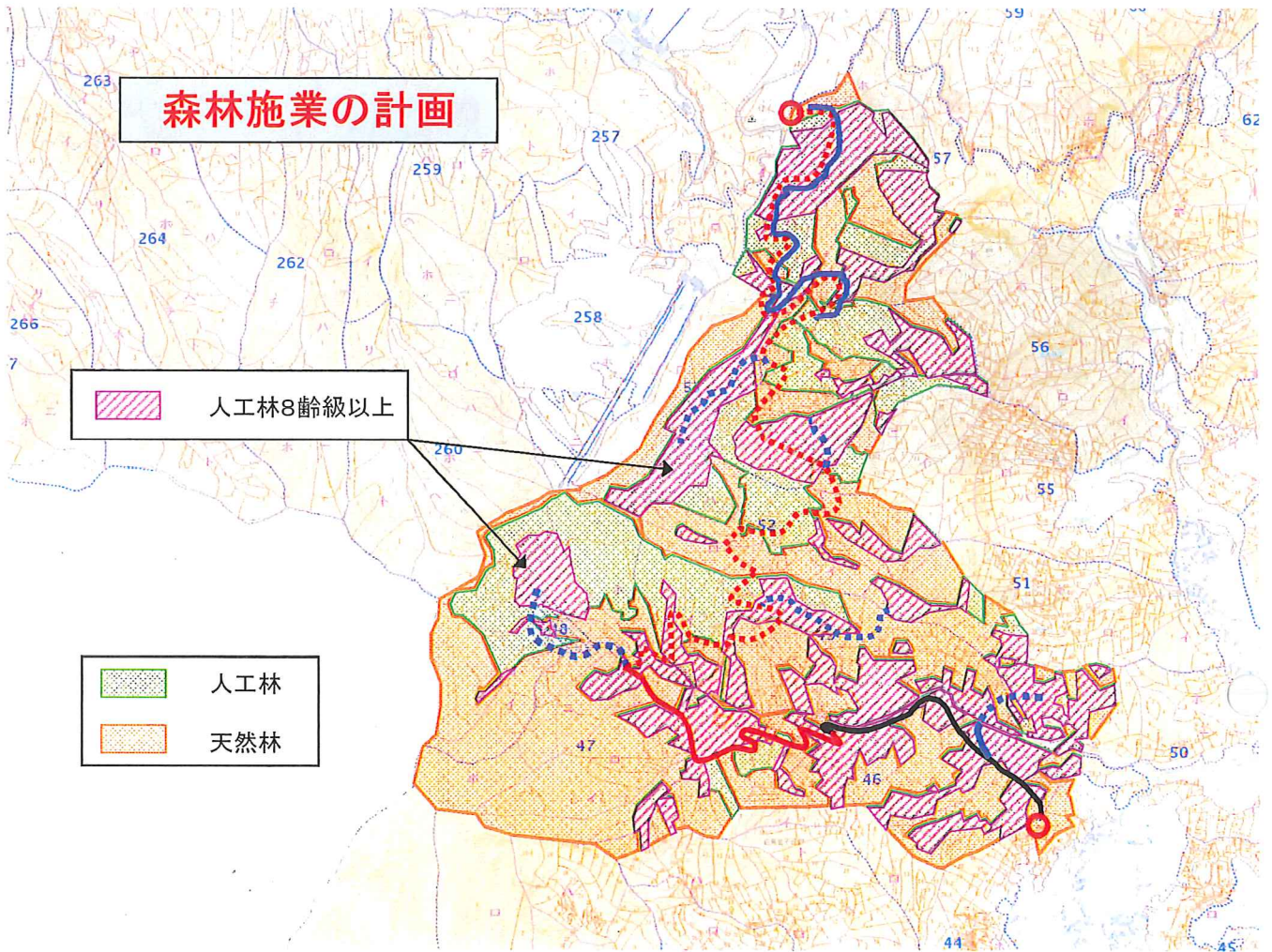
施業計画区域

人工林  
天然林

終点

起点





## 費用対効果分析

### ■ 事業の効果

- ・ 木材生産便益
- ・ 森林整備経費縮減等便益

効果全体の19.5%

効果全体の80.5%

### ■ 投資効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5$$

# 関係者の意向

- ・ 適切な森林整備の促進・森林施業の省力化
- ・ 集落間を結ぶ非常時用の迂回路



早期完成を強く要望

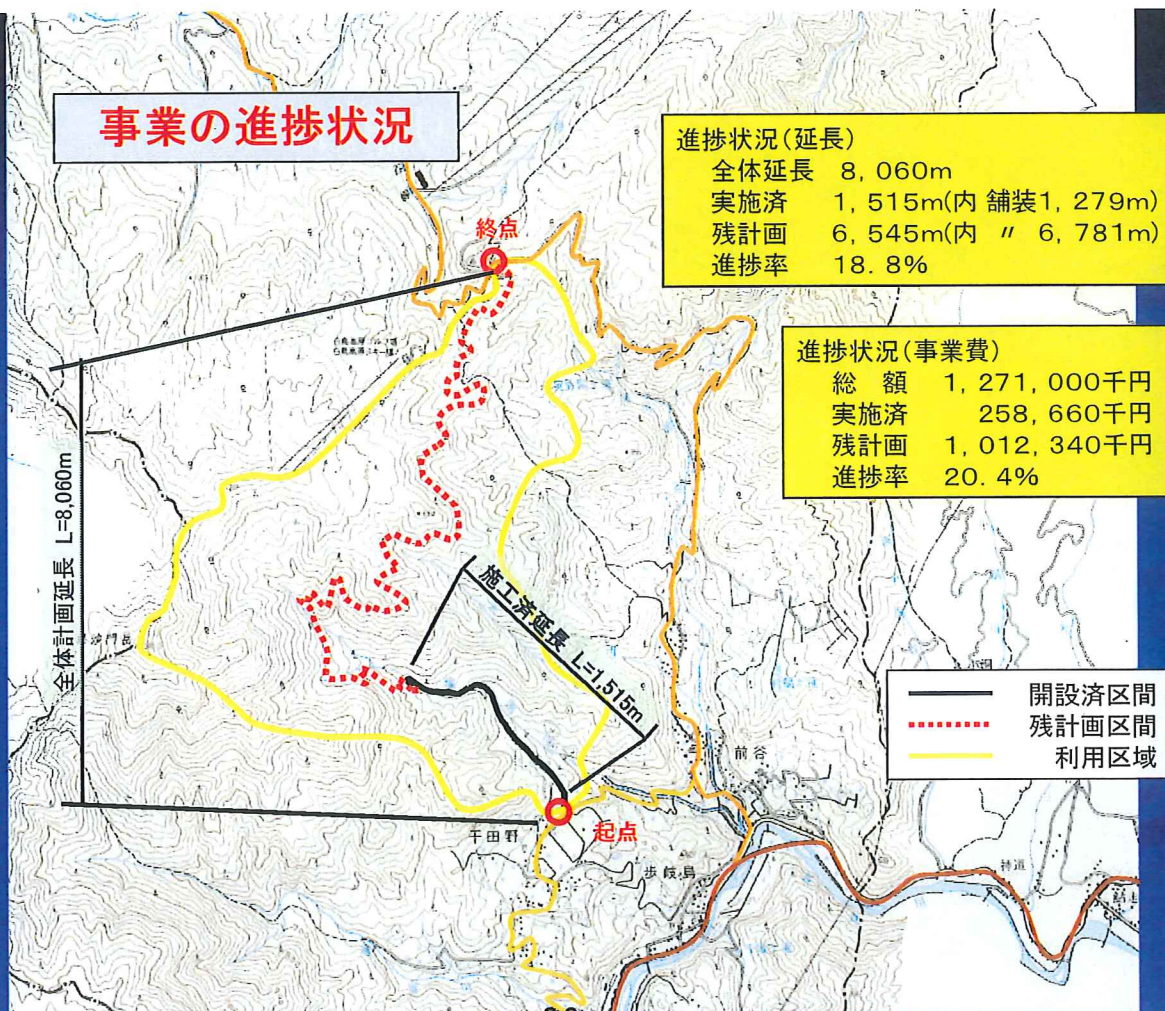
## 事業の進捗状況

### 進捗状況(延長)

全体延長	8,060m
実施済	1,515m(内 舗装1,279m)
残計画	6,545m(内 " 6,781m)
進捗率	18.8%

### 進捗状況(事業費)

総額	1,271,000千円
実施済	258,660千円
残計画	1,012,340千円
進捗率	20.4%



## コスト削減に対する取り組み



既設作業道を利用した線形



プレキャストL型擁壁工

## 環境に配慮した取り組み

— 間伐材の利用 —



木柵工



木伏工

## 対応方針(案)

1. 利用区域内の主伐・利用間伐期の割合が高く、森林整備促進の必要がある。
2. 森林所有者及び関係機関から事業継続・早期完成を強く要望されている。



継続して事業を実施することが妥当

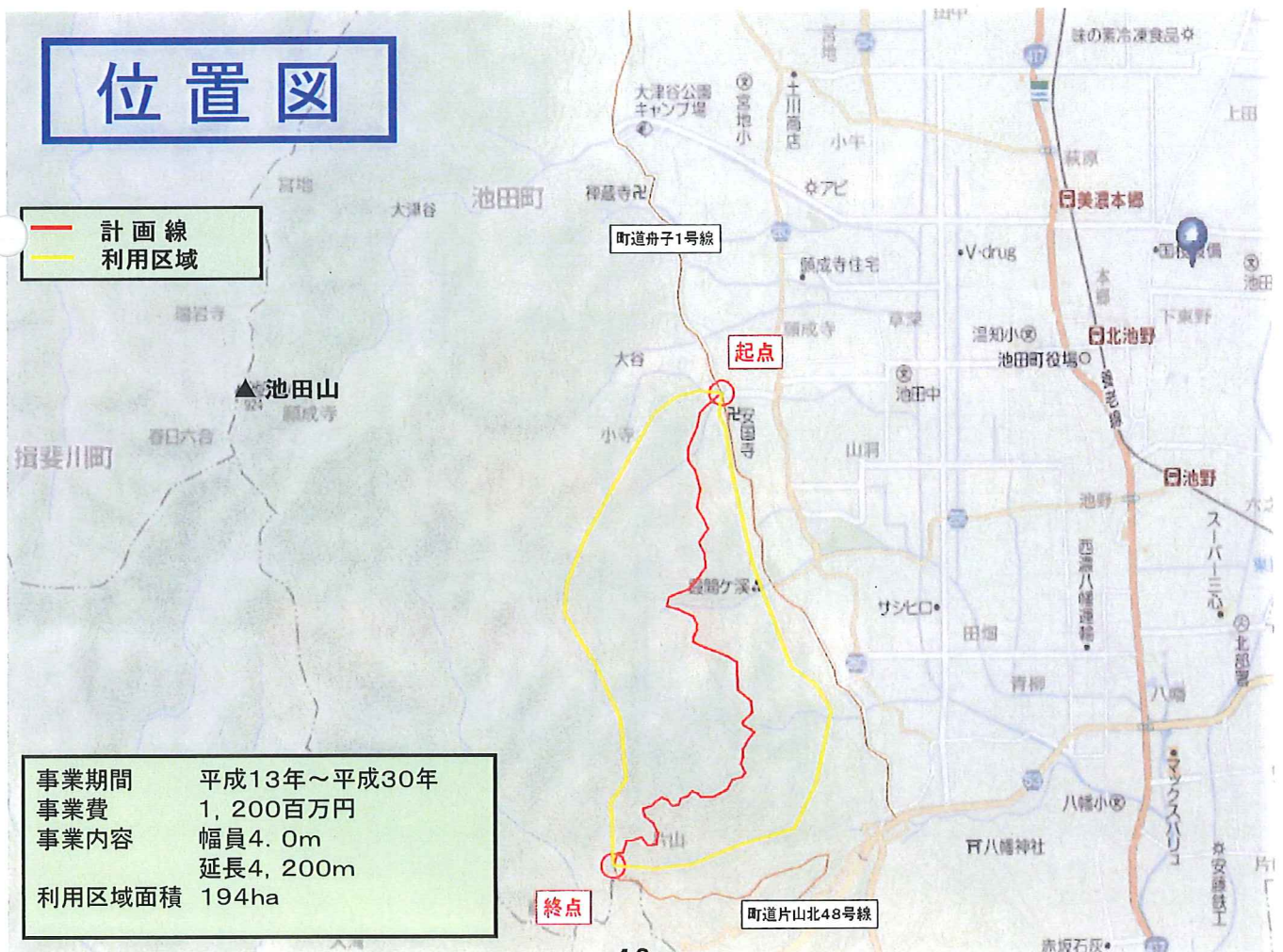


# 公共林道事業 (地域自主戦略交付金)

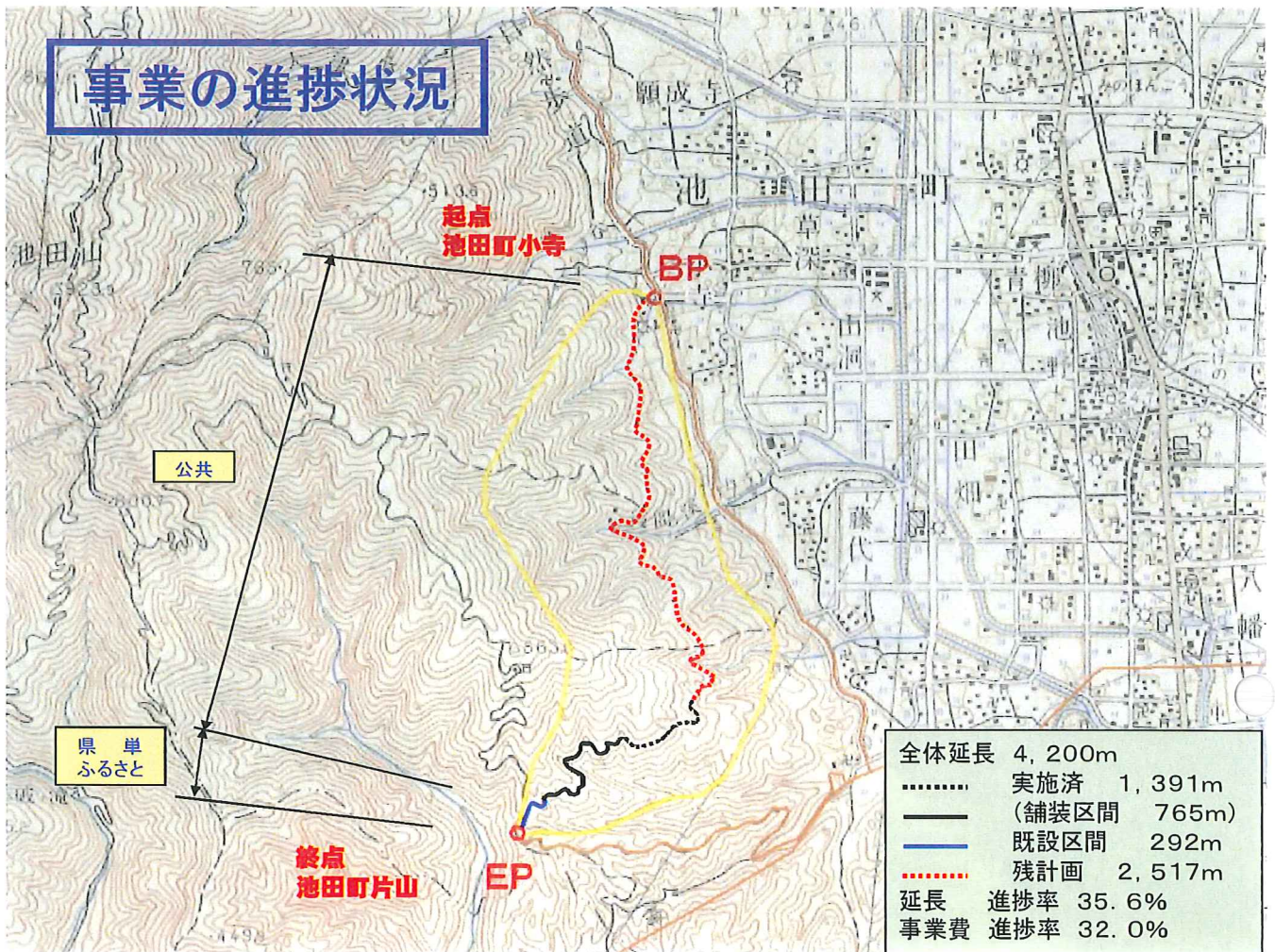
## 林道池田山平成線の再評価



### 位置図



## 事業の進捗状況

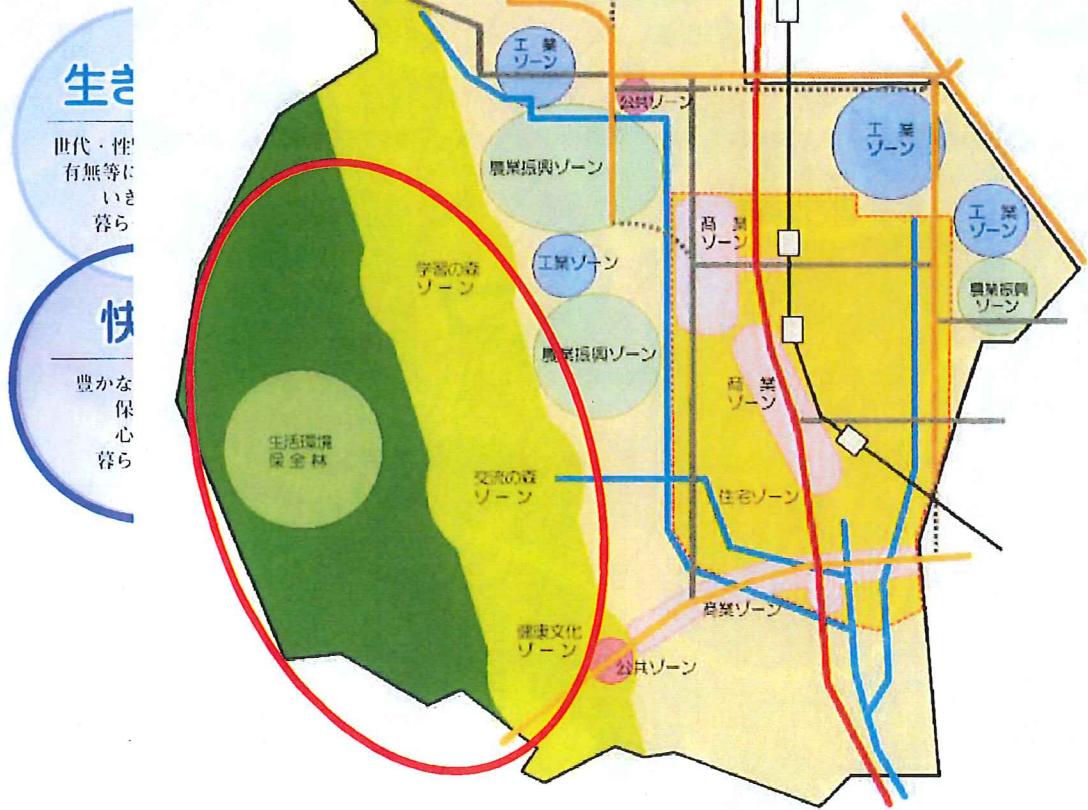


## 事業の目的

- ・効率的な林業経営
- ・間伐材等木材の搬出
- ・池田山の適正な森林整備

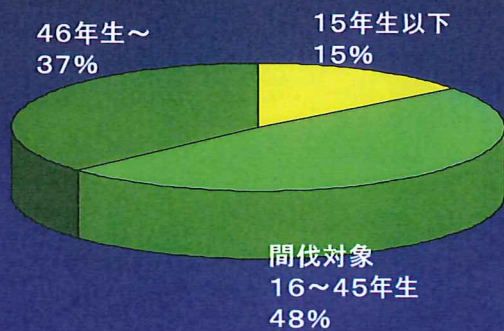


## 用途別基本方向

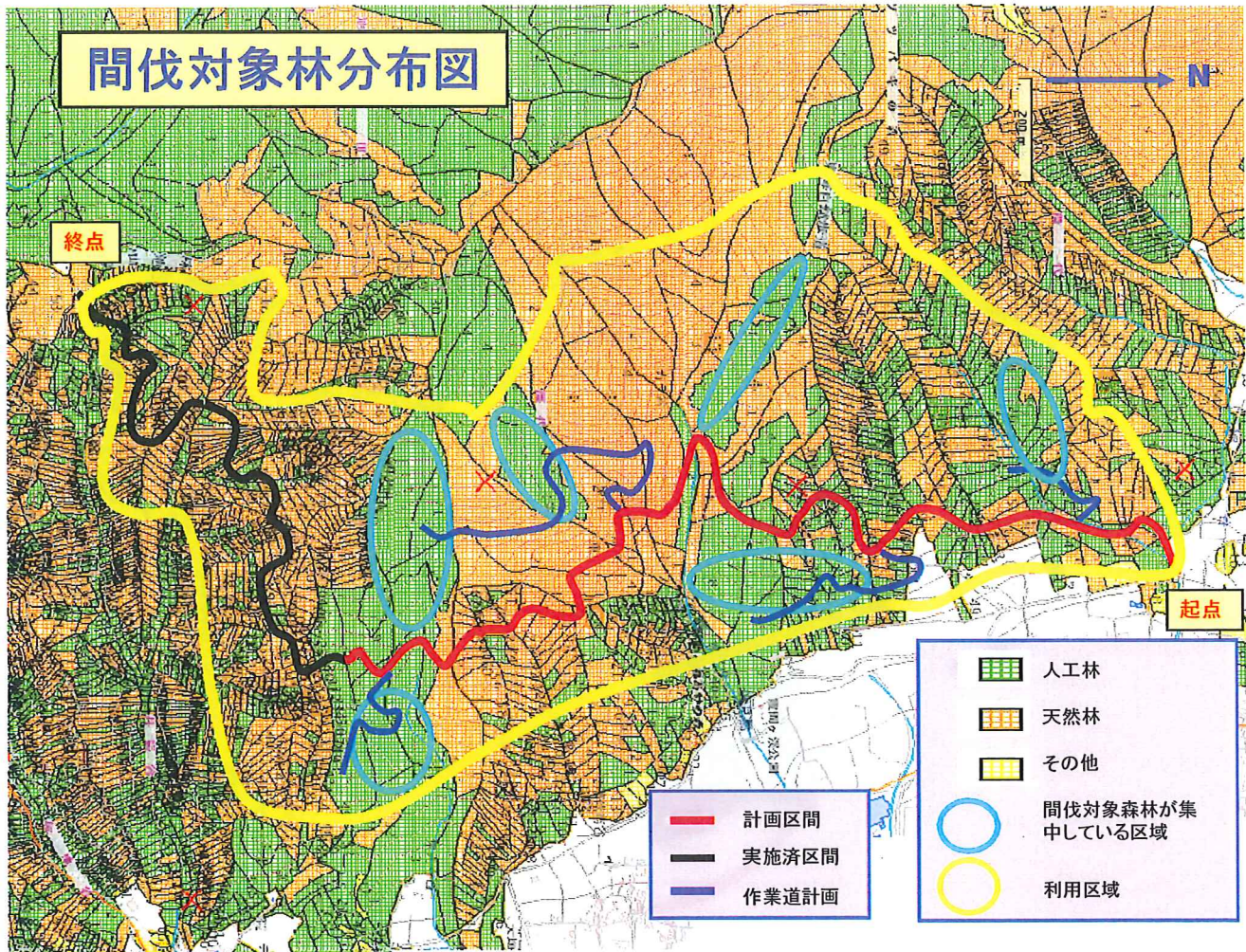


## 利用区域内の森林現況

### 人工林内の齢級分布



# 間伐対象林分布図



- 人工林
- 天然林
- その他
- 間伐対象森林が集中している区域
- 利用区域

- 計画区間
- 実施済区間
- 作業道計画

## 投資効果の分析

### ■事業の効果

○木材生産等便益 10%

路網の整備により木材搬出経費が縮減される効果  
木材の利用が促進される効果

○森林整備経費縮減等便益 60%

森林の持つ公益的機能が増進する効果

○森林の総合利用便益 30%

森林へのふれあい機会が増加する効果

### ■投資効果率

効果額

————— = 1.1

事業費

前回評価時  
(H13)  
1.2

# コスト縮減への配慮



プレキャストL型擁壁工



残土処理費縮減のため  
補強土壁工を採用

# 環境への配慮



木伏工

木柵工

間伐材の利用

## 対応方針（案）

1. 間伐を始めとした地域の森林整備を促進させる。
2. 森林所有者が事業継続・早期完成を強く要望している。



継続して事業を実施することが妥当